

旅行取扱状況の概観（平成17年3月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体、学生団体がともに前年実績を上回り、合計は前月に続いて前年比プラスとなり、主催旅行もホリデイの好調により前年実績を上回った。個人旅行も前月に続いて前年実績を超え、3ヶ月連続の前年比プラス。このため、海外旅行合計は前年比130.1%と前年実績を大きく上回った。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では、学生団体は前年実績を上回ったが一般団体は取り扱い低調で前年実績に届かず、合計は前年比マイナスとなった。主催旅行はメイトの好調により前年実績を大きく上回り、3ヶ月連続の前年比プラスと好調に推移し、個人旅行も愛知万博入場券取り扱いの好調により前年実績を上回った。この結果、国内旅行合計は、前年比105.9%と5ヶ月連続で前年比プラスと堅調に推移している。

国際旅行は、大型イベントの取り扱いにより前年比119.4%と大きく前年実績を上回り、4ヶ月連続での前年比プラス。

3月の総取扱額は、海外旅行、外人旅行の好調、国内旅行の堅調により、前年比113.7%と前月に引き続いての2桁増で前年実績を上回り、3ヶ月連続で前年比プラスとなった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱いが全体を押し上げ、前月に続いての前年比プラス。学生団体は、修学旅行、海外研修等の取り扱い好調により、13ヶ月連続で前年実績を上回った。方面別の取り扱いでは、韓国を除くアジア各方面が好調であった。

(2) 主催旅行

ホリデイは取り扱い好調で、前年比171.2%（販売実勢は対前年127%）と前年実績を大きく上回り前月に続いての前年比プラス。方面別取扱いは、アジアの倍増を筆頭に、中国、ハワイ、オーストラリアが好調であった。アジアでは台湾、香港が大きく増加したが、タイ（前年比79%）は前月に続いて低調であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の好調、その他団体の伸び悩みと前月取扱いと傾向は変わらず、回復の兆しを見せたが前年実績には達しなかった。学生団体は、修学旅行、校外学習の取り扱いが増加し3ヶ月ぶりに前年実績を上回った。

(2) 主催旅行

メイトは前年比114.5%（販売実勢は対前年110%）と前年実績を上回り、3ヶ月連続の前年比プラス。方面別では、沖縄と東京地区（ディズニーランド商品等）が好調であった。

（以上）